

## 「閉会挨拶」

株式会社 MTI 常務取締役 川嶋 民夫

長い時間、熱心に耳を傾けて頂き 誠にありがとうございました。これから本日の講演を振り返ってみたいと思います。最初の講演「実海域運航への設計最適化の取組み」では皆様と“一緒に”取り組みたいとのメッセージを、次の「燃料流量計の評価および新型サウンディングスケール開発」では研究開発で困っていることを解消して“幸せになりましょう”との思いを、3番目の「海上コンテナ輸送におけるカーゴケア技術と物流現場利用」では国際物流における貨物品質を“支えます”との決意を述べさせて頂きました。後半の「MTI における営業活動」では世の中に新しい製品を“広めます”との意欲を、最後の「船舶版ビッグデータの時代へ」では“世界をリード”するとのビジョンを述べました。発表者各人各様が自分の想いを伝えたとと思います。

最後に、10 年目に入ったMTIが会社として何を指すのかということに簡単に触れて、纏めの言葉にしたいと思います。弊社MTIは、外航海運会社NYKの子会社であり、ユーザー目線での研究開発を目指しています。コア技術である「実業で発生する各種データの計測・解析技術」により、船舶技術開発による海上輸送の安全・環境・経済性の差別化と、物流技術開発による輸送品質の差別化・物流現場改善を実現することで、国際物流に貢献してきました。今後目指すものとして、更に難易度が上がりますが、「新しい技術を用いた、新しいビジネススタイルの創出」にもチャレンジしていきたいと考えております。

本日は拙いところも沢山あったと存じますが、私達の想いが伝わっていたら幸いです。